

=====
ふくしま

2015. 5. 28

復興支援フォーラムニュース No. 94

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

福島県における商工業の復興の状況と課題 ～営業損害賠償に触れて～

福島県商工会連合会

指導部広域指導課長 佐藤敏文

①地域、被災概要の説明

②原発事故からの経過、中小企業支援施策

③具体的な支援事例

④震災4年後の現状

⑤各調査結果（営業損害賠償等）

- ・ 県内企業の経営の現状・求める支援策（福島県経営支援策検討調査結果）
- ・ 避難等指示区域事業所に対する経営支援策アンケート調査報告
- ・ 「福島県産食品」に対する首都圏及び福島県内消費者の意識調査

第91回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

5月14日、福島市A O Zで、第91回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

今回は、野中俊吉氏（生活協同組合コープふくしま専務理事）から、「生協組合員目線での被ばく調査について」について、報告をいただきました。

32名の方々に参加していただき、活発な質疑応答がなされました。会場で、文書提出されたご意見等は、以下の通りです。

~~~~~

★ コープふくしま（貴組合）の組合員目線での取り組み等々のお話をいただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。多種にわたる調査・検査（ex. 全国102名の調査等）は、とても興味のあるお話とデータでした。我々の事業にも、とても参考になると感じました。（K. S）

★ 生活者の目線でありながら、全国的な組織だからこそできる調査がとても興味深かったです。全国のたくさんの方々の理解や応援、もっと広く知ってもらえればと思います。（H. S）

★ 話の内容が非常に具体的で説得力があった。福島の間人こそ、被災地（原発周辺）のことを知るべきだと考え、ツアーを始めたというくだりには、特に目を洗われました。（K. M）

★ こまめに、しかしねばり強く、長期的なデータを集めた結果がよく出ていた良い報告で、教えられた。多面的ない生協活動に即した説得力ある報告であった。住民の生活に密着した巨大生協組織の有効性・強みを改めて知らされた。生協関係者の大きな努力に、この機会に敬意を表したい。（S. I）

★ 冷静で科学的なコープふくしまの取り組みは、福島県民の不安と払拭するおおきなきっかけになったと思います。（H. S）

★ 被災後から地道に活動されていた様子が、よくわかりました。素晴らしいトータルな視点での調査測定などの取組です。講師（コープふくしま）の姿勢・視点にも共感させられました。農産物を測定しないcoopに不信もあり、福島産に手が伸びませんでした。実際値を知ったら安心して、食べるようになりました。数値を出すことは、安心につながると思います。（K. A）

★ 90回の開催を過ぎて初めて参加しました。他県の青年と一緒にボランティアやフィールドワークをすることがありますが、今回のように、「放射能をどう受けとめるか？」という話題になると、毎度、なんとこたえたものか悩みます。また最近になって、身近な人が、「え?! いまだにそんな認識なの!」とショックを受ける場合もありました。もう一回、原発や放射能について話題にしてもいい環境をつくるのが大切だという話に、その通りだと思いました。今後も、できるだけ参加したいと思います。（T. N）

★ 新しい調査をする事で、原発事故から時間が経過して、放射線の不安について、口を出しにくかった人も、改めて口にだすことができるという視点は、新鮮でした。原発事故直後の断水の時、子どもを給水車の前に並ばせて被曝させてしまったと悩んでいるお母さんの話は、私も聞いたことがあります。少しでも、内部被曝を子どもにさせたくないというお母さん達の行動の奥の不安が解決されないと、根本的解決にはならないので、COOP ふくしまの不安によりその姿勢は大切だと思いました。（K. Y）

★ 「個人の物差し」づくりは、今後も追求して行ってほしいです。その物差しづくりに生協での活動蓄積を活かしてもらいたいです。「怖がる権利」「互いの尊重」この言葉が、この言葉が今日聞いた中で一番心に残りました。（Y. I）

★ 激動の中で、長期間継続して、測定を続けてこられて貴重なデータをありがとうございました。風評被害を無くしていく有効なものと思います。科学的データと原発賛成反対は別のこと

を、もっと日本中に定着させたいものです。(M.S)

★ 原発事故直後から、先導的に活動されてきた姿に感動いたしました。(とくに公的機関においては取り組めないような課題への挑戦など。)(K.F)

★ 実生活の中で、どう科学的に放射能を学び、安全性・安心感を獲得していくか、の取り組みが具体的に報告され、大変勉強になりました。まさに住民に寄り添った視点での生協の取り組み、今後も期待したいと思います。

~~~~~  
【予告】第93回フォーラム 2015年6月10日(水) 18:30~20:30 【日程変更・要注意】

「原発事故被災地における復興まちづくり計画」

報告者：間野 博 氏(県立広島大学名誉教授

・うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員/都市計画)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」視聴覚室

~~~~~  
【予告】第94回フォーラム 2015年6月25日(木) 18:30~20:30

「県内水産業の現状と課題」

報告者：遠藤 和則 氏(前相馬双葉漁業協同組合本所部長)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室1

~~~~~  
【予告】第95回フォーラム 2015年7月9日(木) 18:30~20:30

「震災報道の現場から ~伝える事の大切さ、伝える事の素晴らしさ」

報告者：大和田 新 氏(フリーアナウンサー)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室1

~~~~~  
【予告】第96回フォーラム 2015年7月22日(水) 18:30~20:30

「放射能汚染と樹園地および山岳生態系

~山岳愛好家・果樹研究者として係った福島大原発事故」(仮題)

報告者：佐藤 守 氏(高山の原生林を守る会代表)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」視聴覚室

~~~~~  
【予告】第97回フォーラム 2015年8月6日(木) 18:30~20:30

「相双地域におけるメンタルヘルスケアの取り組み」

報告者：丹羽 真一 氏(福島県病院事業管理者、

福島医大・会津医療センター 精神医学講座 特任教授)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」視聴覚室

~~~~~  
【予告】第98回フォーラム 2015年8月20日(木) 18:30~20:30

「居住支援協議会 震災被災者の住宅再建と高齢者等の地域見守り」

報告者：斎藤 隆夫 氏(福島県居住支援協議会事務局長、

一般社団法人 福島建築安全機構 専務理事)

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室1